

森の学校だより

富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト

FOREST
SCHOOL
BULLETIN

富士山地区

広島地区

福島地区

秋の空に和太鼓が響く「田貫湖秋まつり」

森の学校フェスティバル・森のふれあいコンサート

湯ノ岳山フィールドで癒しの森林療法体験

森羅万象

木に触れ、

ぬくもりを感じる

「木育」を広げたい

担当者から「こんにちは」

地元小学校への環境学習支援

樹話
になる

澄みきった青空が秋を感じるこの頃、収穫の秋を迎えて、栗が美味しい季節になりました。栗といえば、秋の味覚として親しまれていますが、栗は縄文の時代から食材や木材、燃料として積極的に使用されてきました。成長が早く、実が安定して収穫できる栗の木は、重要な食糧。湿気に強く、防虫・防腐処理をしなくても長期間使えるほどの耐久性があり、しかも割りやすくて比較的
加工がしやすいと、いいことづくめ！だから古くから使われているんですね。昔の人は、栗の特性を経験からしっかり学び、すべて無駄なく利用するエコロジーな生活を歩んでいたとのこと。私たちも、木の特性を知り、自然の恵みを生かしながら、木のある暮らしをしていきたいですね。



10～12月のイチオシ体験プログラム！

森林療法体験

【日付】2014年11月16日(日)

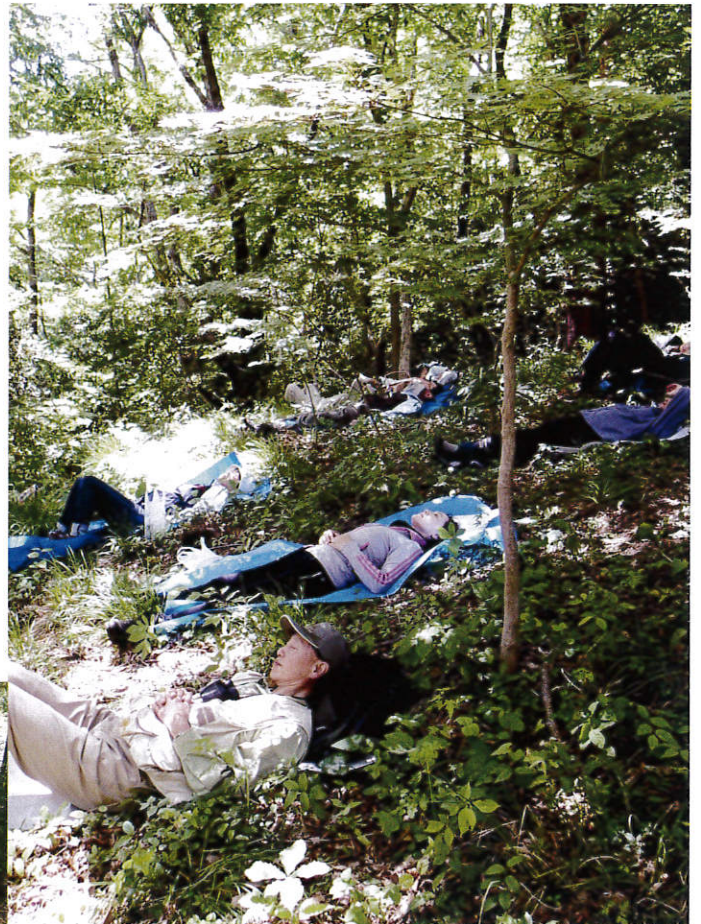
【対象】どなたでも【参加費】500円

企画の背景

森林療法研究家の上原巖先生に湯ノ岳山フィールドにおいてご指導いただいてから試行的に実施してきましたが、受け入れ体制ができたことから多くの方に体験していただこうと考えております。森林浴を代表した森林レクリエーション、林内での作業体験、森のようちえん活動など森の恵を味わってまいります。

企画の想い

将来的には湯ノ岳フィールドにおける森のようちえんの活動などにつなげていければと思っています。お母さんと幼児達の参加を期待しております。



こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告

自然観察会、花炭作り、木工クラフト、野外料理体験【7月20日(日)】

県外からいわき市に来られた方18名を含めて46名の参加者のみなさんと花炭作りの材料採取を兼ねた自然観察会、花炭作り、木工クラフト、野外料理体験を実施しました。今回は親子連れ4組11名の参加がありましたので花炭作りのためのカマドの火起こし体験や、裏山の竹を器にしたごはん作り等も体験してもらいました。

「竹のごはんがとてもおいしかった。」
「自分の手でイロイロなクラフトを作ることができて楽しかった。」(参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています！

■自然観察会

【日付】2014年10月19日(日) 9:00～12:00
【対象】どなたでも
【概要】キノコ勉強会、野外料理体験もあわせて楽しめます。
【参加費】500円

■自然観察会

【日付】2014年11月16日(日) 9:00～12:00
【対象】どなたでも
【概要】森林療法体験、野外料理体験もあわせて楽しめます。
【参加費】500円

■自然観察会

【日付】2014年12月21日(日) 9:00～12:00
【対象】どなたでも
【概要】ソバ打ち体験、野外料理体験も合わせて楽しめます。
【参加費】500円

富士山地区



10～12月のイチオシ体験プログラム！

第9回 ろうきん森の学校 秋まつり

【日 付】2014年10月19日(日)

【対 象】どなたでも

【参加費】入場無料 (有料プログラムあり)



企画の背景

今年で10年目を迎える「ろうきん森の学校」。地域の方の協力を得ながら今年も田貫湖で開催します。秋晴れの下、楽しみながら森の恵みに感謝するお祭りが、「田貫湖秋まつり」です。10周年を迎える今年は、森の恵みを加工することをテーマに、地域一体となって取り組みます。今年は静岡県秋の森づくり県民大作戦シンボルイベントと同時開催です。

企画の想い

富士山を目の前に、地元和太鼓グループの演奏でスタート。田貫湖畔で親子で楽しめる、里山の恵みを活かしたお土産づくりが満載！鹿皮クラフト、ヒノキのアロマバスソルト等、世界に一つのオリジナルを作りましょう。地元の皆さんからの名産品（富士宮焼きそば、マスの塩焼き等）の提供もお楽しみいただけます。



世界に一つのオリジナルを作りましょう。地元の皆さんからの名産品（富士宮焼きそば、マスの塩焼き等）の提供もお楽しみいただけます。

こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告 里山生き物クラブ【8月31日(日)】

今年で4回目を迎える、里山生き物クラブ。親子向けの生き物観察プログラムに、虫好きの子どもたちと親御さんが総勢25名集まりました。生き物、特にカエルやヘビなどの田んぼや畑にいる虫や植物に詳しい講師と一緒に、虫捕りをしたり、クイズやゲームをしながら親子で楽しく生き物について学びました。よく観察する大切さ、本当に知るということを親子で実感してもらえるプログラムでした。

「虫の捕まえ方、習性なども教えていただけてありがたかったです。これをきっかけに“知る”楽しさを子どもも実感できたようです。」
「子どもだけでなく親も虫探しに夢中になるくらい楽しめました。」 (参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています！

■富士山!カラダの学校

- 「秋の風を感じる朝霧高原コース」【日付】2014年10月5日(日)
- 「西山本門寺・秋の里山コース」【日付】2014年11月2日(日)
- 「元祖浅間神社を巡るコース」【日付】2014年12月7日(日)
- 【対象】小学生以上(身長110cm以上)
- 【概要】富士山西麓エリアで、毎月ノルディックウォーキングのイベントを実施。健康運動指導士と自然ガイドが健康ネタと富士山の自然ネタをご紹介します。楽しく歩きます。
- 【参加費】3,000円 (小学生は1,500円)

■植物のチカラ～森の香りのクリーム作りで肌美人～

- 【日付】2014年11月30日(日)
- 【対象】小学生以上
- 【概要】富士山の森の植物で3種類のアロマグッズを作ります。薬剤師の先生を講師に、美肌作りのヒントも盛りだくさんです。
- 【参加費】3,000円 (小学生は1,500円)

■里山のようちえん

- 【日付】2014年11月15日(土)・16日(日)
- 【対象】3歳～6歳(未就学児)とその保護者 ※リピーターのみ小学2年生まで可
- 【概要】ソバ打ちと、5月に田んぼに入れたアイガモの「いのち」を頂きます。親子で本当の「いただきます」の意味を感じる2日間です。
- 【参加費】大人13,000円、子ども9,000円

■おいしい里山物語10月

- 【日付】2014年10月19日(日)
- 【対象】3歳以上
- 【概要】乳製品、卵、添加物を使用せず、自家製の小麦粉を使い、愛情込めて天然酵母のパンを作っている講師にパン作りを学びます。
- 【参加費】大人3,500円、子ども2,500円

■里山つなぎ隊

- 【日付】2014年11月29日(土)・30日(日)
- 【対象】18歳以上
- 【概要】富士山麓の里山をキレイにするボランティア活動。竹林整備後は里山の恵み(竹)を使って、竹クラフトを作ります。
- 【参加費】2,000円(宿泊使用料・食事代込)

■おいしい里山物語12月

- 【日付】2014年12月7日(日)
- 【対象】3歳以上
- 【概要】猟師と里山を歩き、野生動物の有効利用として“ジビエクッキング”を楽しみ、その命に感謝し、命の恵みをいただきます！
- 【参加費】大人3,500円、子ども2,500円



10～12月のイチオシ体験プログラム！

森の学校フェスティバル・森のふれあいコンサート

【日付】2014年11月1日(土)・2日(日)

【対象】どなたでも

【参加費】フェスティバル(無料/一部有料)、
ふれあいコンサート(500円)



企画の背景

ろうきん森の学校のフィールドは10年間の整備によって、とても過ごしやすく、親しみやすい森になりました。この森を1年に一度一般開放することで、子どもからお年寄りまで、さまざまな世代の方に森に親しんでいただく機会を作りました。

企画の想い

友だち同士、家族連れなどで、気軽に森の学校を訪れていただき、秋の素敵な森と楽しいプログラムや音楽と共に、ゆったり、ゆっくり、くつろいだ時間を過ごしていただきたいと思います。



慎んで広島土砂災害のお悔やみとお見舞いを申し上げます。

8月20日に発生した広島市の豪雨災害で被災された皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。ろうきん森の学校広島地区では、ひろしま自然学校がRQ災害教育センター等と連携しながら、復旧支援のお手伝いを続けて参ります。

こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告

夏の分校1/2ヶ月【8月3日(日)～17日(日) <14泊15日>】

ひろしま自然学校が実施するこどもキャンプで最も長期間にわたるキャンプ「夏の分校1/2ヶ月」を8月3日(日)～8月17日(日)まで、14泊15日で開催しました。定員24人に対して60名余りの申し込みがあり、とても人気のプログラムです。キャンプでは「分校会」と呼ばれる自治会(生徒会)を子どもたちが組織し、この分校会を中心にして、子どもたち自身が自分たちでキャンプのルールを決めたり、プログラムを自主運営したりしました。カヌー、ツリークライミング、沢登りなどの冒険的な活動やフリータイムという子ども発案の

活動が自由に開催できる時間、各班ごとに2日間のプログラムを自主企画し自由に過ごす2日間、地元の夏まつりの復活大作成など、とても充実した15日間を過ごすことが出来ました。

「はじめは、こんな長いキャンプ大丈夫かと不安だったけど、今はまだキャンプを続けていたい気持ち」

「分校会の役員になって嫌だと思っていたけど、6人の分校会役員でみんなが一つになるために色々な企画をする時間が一番楽しかった！」

(参加者アンケートより)

他にもこんな体験が待っています！



■第4回わくわく探検隊

【日付】2014年10月4日(土)
【対象】小学4年生～6年生
【概要】みんなで屋台村パーティーを実施します。
【参加費】26,000円(全4回分)

■平日作業隊

【日付】10月～12月の毎週木曜日
【対象】森の整備に興味がある方
【概要】森の学校のフィールド整備、動植物調査など
【参加費】無料

■第12回コミュニティ・ワーカー・トレーニング

【日付】2014年11月22日(土)・11月23日(日)
【対象】大人
【概要】地域づくりの仕掛け人に必要なスキルを学びます。
【参加費】15,000円

森 羅 万 象

工房地球のかけら
主宰 古我知 毅さん



PROFILE

20代の初めのころ日本各地やインド・ネパールを旅し、30代になって大工にアコガレ木工の世界へ、親方について修行し独立。現在は、手作り家具から住まいのリノベーションそしてワークショップまで幅広くこなしています。

木に触れ、ぬくもりを感じる「木育」を広げたい

Q1 地球のかけらの概要を教えてください。

沖縄の南部、八重瀬町を拠点にした木の工房です。手づくり家具の製作や木工住宅の建築・リフォームなどを手がける一方で、木のものづくりを通して木の良さを伝える「木育」の活動も行っています。木に触れながら、自分の暮らしを振り返るきっかけにしてもらいたいという意味で、木の環境教育ですね。以前は工房のみでプログラムを実施していましたが、最近は県内の様々なところに出向く、出張プログラムも行っています。

Q2 ワークショップでは具体的にどのような作品を製作しているんですか？

沖縄の代表的な県産材であるリュウキュウマツを使った釘を使わない椅子とか、松ぼっくりや小枝といった森の素材を文字盤に活用する森の時計、さらには木のボールペンなどです。リュウキュウマツは木目が美しいので、子どもたちはもちろん、親御さんたちもとても喜んでくれますね。

Q3 古我知さんが「木」に出会ったきっかけを教えてください。

20代の頃は塗装関係の仕事をしていたんですが、建築現場で出会った大工がめちゃくちゃカッコ良かったんです。1つ1つの作業はもちろん、余った材でサッと自分用の椅子を作ったりする姿を見て、大工に憧れたんですね。そこで大工に弟子入りして、県内の様々な現場で修行をさせて頂きました。15年前に「クラフト古我知」という名前で独立し、もっといいネーミングをということで、6年前から「工房地球のかけら」に改めました。

Q4 「木育」はどのようなきっかけで始まったんですか？

独立して、木工教室の講師をお願いされるようになりました。そこで単に作って終わりではなく、木やものづくりの可能性をどんどん広げたいと環境教育の活動も始めるようになったんです。特に木に特化した環境教育をしたいと思って、全国の動きをいろいろと調べている時に、北海道の木育ファミリーさんに出会いました。「木とふれあい、木に学び、木と生きる」という木育の考え方にとても共感したんです。ただ、最初はみんな聞いたことがないので、木育という言葉をあまり積極的には使いませんでしたね。ようやく馴染んできたかなと思います、「木育」を本格的に使い始めたのは4年前です。



Q5 この4年間で、沖縄の「木育」は変化しましたか？

聞いたことがあるよというレベルでは、確実に広がっていると思います。ただ、「～育」って多いじゃないですか。残念ながら、自分たちの学びが増えたからではなく、社会の課題が増えた結果ですよね。その意味で、正直なところ、木育という言葉にまだ少し抵抗感を抱いています。「木育」に変わるもっといい言葉を探している感じがですね。

聞き手：田中 啓介（全国事務局）

Q6 沖縄で「木育」を広げていくためには？

台風が多い沖縄は基本的にコンクリート住宅が多いため、暮らしの中で木に触れる機会が少なく、また、生産量の少ない県産材の利用はどうしても家具や日用品がほとんどです。一方で、沖縄には内地にはない特徴的な木も多く生えています。まずは沖縄の木について「知る」機会を増やして欲しいですね。例えば自宅の前に生えている木に触れてみたり、名前を調べたり。人間と同じで、相手の特徴が分かると親近感が湧いてきます。そこから新しい世界観が広がるはずですよ。さらに、林業関係者とのつながりを深めたいですね。今、森林組合の方と一緒に森のツアーをやろうと計画していますが、森に関わる人との接点はとても大切だと思います。

Q7 「木育」はどのようなきっかけで始まったんですか？

子どもたちには、もっともっと木に触れて、手づくりのものが持つぬくもりを感じて欲しいです。いろんな体験をたくさんしている子どもたちが大人になれば、さらに良い社会や未来が実現できるはず。だからこそ、木に携わっている多くの皆さんを、これからも応援し続けてください！





ろうきん森の学校は

日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行なう、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島地区3地区で同時展開しています。



Information & Access & Map

富士山地区

- 袖野エリア
- 田貫湖エリア
- 御殿場エリア

Information
 NPO法人ホールアース研究所
 〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野165
 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567
 E-mail: forest@wens.gr.jp
 HP: http://wens.gr.jp

Access
 電車: JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分
 車: 新東名高速道路新富士ICより30分

福島地区

- 湯ノ岳エリア
- 岩出・好間・藤原エリア

Information
 NPO法人いわきの森に親しむ会
 〒970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内
 TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273
 E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp
 HP: http://www16.plala.or.jp/goan/

Access
 電車: JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分
 車: 常磐自動車道いわき湯本ICより10分

広島地区

Information
 NPO法人ひろしま自然学校
 〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207
 TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863
 E-mail: nkk2002@mac.com
 HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access

Access
 電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
 車: 広島自動車道広島北ICより20分

ろうきん森の学校全国事務局 | 〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野165 TEL 0544-66-0790 FAX 0544-67-0567
 NPO法人ホールアース研究所 | E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://www.mori-gakko.com

担当者から

「こんにちは」

NPO法人いわきの森に親しむ会
 会員 佐藤 烈 さん

いわき市は約1231km²と広い面積があり、暖温帯から冷温帯の気候に区分され、それに従い複雑な植生があります。私たちは、湯の岳山荘を拠点に自然体験活動のフィールドを整備し、実践していますが、一方、小学校の総合学習で自然環境学習を取り上げたいけれど、野外活動となると安全面や自然環境に関する知識がなく、実践できないという学校現場の声があります。このためこれらの学校の総合学習の支援にも力を入れています。感受性の高い小学生、中学年を中心に、季節の移り変わりを観察できるように、学校の近くのフィールドを探し、下見を繰り返して、毎回メニューを替え、年に4、5回の授業を支援しています。この活動に数回参加していると、すっかり顔なじみになった子供たちの笑顔、そして成長が何よりの元気の源になります。この活動をもっと広げていきたいのですが、支えるスタッフが少ないのが現状です。